

令和元年度 第2回鳥取県がん診療連携協議会 議事要旨

- 日時** 令和2年2月21日(金) 15:00~16:50
- 場所** 会議室2(第二中央診療棟2階)
- 出席者**
- 原田 省 (鳥取大学医学部附属病院 院長)
 - 福田 哲也 (鳥取大学医学部附属病院がんセンター長)
 - 中村 誠一 (鳥取県立中央病院 外科部長)
 - 小寺 正人 (鳥取市立病院 診療局長・がん相談支援センター長)
 - 吹野 俊介 (鳥取県立厚生病院 副院長)
 - 松岡 正尚 (米子医療センター 杉谷篤副院長 代理)
 - 西土井 英昭 (鳥取赤十字病院 病院長)
 - 角田 直子 (鳥取生協病院 皆木真一病院長 代理)
 - 林 英一 (野島病院 乳腺・内分泌外科部長)
 - 五郎丸 修 (博愛病院 角賢一副院長 代理)
 - 米川 正夫 (鳥取県医師会 渡辺憲会長 代理)
- 欠席者**
- 野坂 仁愛 (山陰労災病院 副院長)
 - 岡田 克夫 (鳥取県医師会 常任理事)
 - 植木 芳美 (鳥取県福祉保健部健康医療局長)
 - 萬井 実 (鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課長)
 - 丸山 真治 (鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課長)
- 陪席者** 【鳥取県】
- 高橋 浩毅 (鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課がん・生活習慣病対策室長)
 - 藤井 麻耶 (鳥取県西部総合事務所福祉保健局健康支援課 副医長)
 - 山本 一志 (鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課がん・生活習慣病対策室 課長補佐)
- 【院外】
- 藤松 義人 (鳥取県立中央病院)
 - 原田 賢一 (米子医療センター)
 - 浦川 賢 (鳥取県立中央病院)
 - 松波 馨士 (米子医療センター)
 - 上田 康仁 (鳥取県立中央病院)
- 【鳥取大学医学部附属病院】
- 大山 賢治 (鳥取大学医学部附属病院 緩和ケア科 科長)
 - 矢内 正晶 (鳥取大学医学部附属病院化学療法センター 医師)
 - 船越 美華 (鳥取大学医学部附属病院医事課事務職員)
 - 宮田 幸宏 (鳥取大学医学部附属病院事務部長)
 - 藤元 高德 (鳥取大学医学部附属病院総務課長)
 - 松浦 政裕 (鳥取大学医学部附属病院経営企画課長)

徳長 博志 (鳥取大学医学部附属病院医事課課長)
小林 圭太 (鳥取大学医学部附属病院総務課法規・評価係長)
大島 佐千子 (鳥取大学医学部附属病院医事課保険係長)
秦野 秀雄 (鳥取大学医学部附属病院医療福祉支援センター)
陶山 久司 (鳥取大学医学部附属病院)
谷口 雄司 (鳥取大学医学部附属病院)
大石 徹郎 (鳥取大学医学部附属病院)
谷野 朋彦 (鳥取大学医学部附属病院)
小野 康之 (鳥取大学医学部附属病院)

議事に先立ち原田協議会長から、鳥取県のがん診療への挨拶があった。

○協議事項

1. 部会設置要綱改正について

福田委員から、資料 1 に基づき、部会長及び副部会長の任期について改正する旨説明があり、協議の結果、これを承認した。

なお、現部会長及び副部会長の任期は令和 2 年 3 月 31 日までである旨、併せて説明があった。

2. 緩和ケア部会、放射線部会 部会長等交代について

福田委員から、資料 2 に基づき、緩和ケア部会の新部会長として、鳥取県立中央病院の浦川氏、副部会長として米子医療センターの松波氏の推薦があった旨説明があり、協議の結果、これを承認した。また、放射線治療部会の新部会長として、鳥取大学医学部附属病院の谷野氏の推薦があった旨説明があり、協議の結果、これを承認した。

3. 令和 2 年度協議会の委員等について

福田委員から、現在の協議会構成員及び各部会構成員の任期が令和 2 年 3 月 31 日までであることが説明され、4 月以降に各施設に推薦依頼を送ることが報告された。

4. 今年度の作業部会の活動について

資料 4 に基づき、各部会から説明があった。

岡本部会長の代理で船越部会員からがん登録部会について、今年度の活動は概ね順調に実施されているが、院内がん登録委員会の開催については施設によりばらつきがあること、鳥取県院内がん登録情報センターHP の情報発信が十分ではないという課題が説明された。また、次年度は今年度の活動に加えアンケートを実施することが説明された。アンケートの具体的な実施方法について質問があり、市民公開講座等でアンケートを行うことが説明された。

藤松部会長から相談支援部会について、今年度の活動として、リーフレット作成・配付等の普及啓発活動の実施、山陰両県の相談支援業務者対象の研修会の実施、第 3 次鳥取県がん対策

推進計画における相談支援分野の個別目標値の達成などが説明され、次年度は、普及啓発活動、従事者のスキルアップ及びがん対策推進計画の目標達成を行うことが説明された。

浦川部会長から緩和ケア部会について、今年度は各施設の緩和ケアに関する研修会等が実施されたことが説明された。次年度は、引き続き研修会等を開催していくことと、国立がん研究センターで行われている全国調査において地域における緩和ケアの満足度を確認し、必要な対策を検討していくことが説明された。

大山副部会長から地域連携部会について、がんパスの利用増加を進めていること、前立腺パスの導入が検討されていることが説明された。中部地区では医療者に対してがんパス利用に関するアンケートを行うことを検討していることが説明された。

谷口部会長から手術療法部会について、今年度はがん診療体制の質調査に4施設が参加したことが説明された。来年度はデータベース構築の実態調査を実施すること、質調査の結果を各施設で活用すること、及び手術療法に関する研修会の実施を検討することが説明された。

上田部会長から化学療法部会について、これまでの取組が説明された。研修会については、年1～2回の開催を今後も検討していくことが説明された。

谷野部会長から放射線治療部会について、県内各施設の情報交換を行っていることが説明され、今後も放射線治療の質向上に資する活動を継続していくことが説明された。

5. 今年度協議会活動報告及び令和2年度の協議会活動予定について

福田委員から、資料5に基づき、今年度の各施設の活動について説明があった。例年開催しているがん医療フォーラムについては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止されたことが説明され、次年度も鳥取県立中央病院の企画運営とすることが承認された。

引き続き、令和2年度の活動予定については、7月と2月に診療連携協議会を開催し、7月は全国会議の報告と年度の活動予定についての報告を行い、2月に年度の活動実績を報告いただくことを予定すること、12月に研修会を開催することが説明され、承認された。あわせて、緩和ケア研修会及び市民公開講座等の各施設の開催予定が報告された。リレー・フォー・ライフ・ジャパンの開催について、都市部と地方で人口の違う中で同じ方法で行う必要があるのかという意見が出され、都市部以外の開催があること、リレー・フォー・ライフ・ジャパンと名乗るためのルールが定められていることが説明され、各施設で可能な範囲で協力していくことが確認された。

6. 鳥取県院内がん登録情報センターのHPのリンクについて

船越部会員から、資料6に基づき、鳥取県院内がん登録情報センターホームページの概要について説明があり、各施設へリンク作成の依頼を行うことが報告された。

7. 鳥取県からの提案

鳥取県健康政策課山本氏から、資料7-1に基づき、令和2年度の鳥取県一般会計当初予算における県内のがん診療に関する事業について説明された。あわせて、がんの75歳未満年齢調整死亡率の平成30年の数値について、昨年と比較して改善されたことが説明された。

引き続き、鳥取県健康政策課高橋氏から、資料7-2に基づき、QI研究解析結果を活用したが

ん医療の研修モデル事業について、今年度は鳥取県立中央病院及び米子医療センターが参加したこと、令和2年度は4病院程度を予定していることが説明された。支援内容は、国立がん研究センター職員の派遣により検討の進め方にかかる総論的なアドバイス及び専門医の派遣により奨励検討等に対するアドバイスをもらう2本立てであること、参加の前提として、国立がん研究センターが毎年度実施している「がん医療の均てん化指標の測定に関する研究」に関する協力依頼についての対応が必要であることが説明され、質疑応答が行われた。

医療機関の連携の点で、おしどりネットの運営がNPO法人化されることについて、ICTを活用した医療機関の情報連携への支援について、鳥取県からの支援をお願いしたい旨の意見があり、NPO法人への支援については、毎年3分の1ずつ減額されるが支援が継続されることが説明された。QI研究のデータ解析の参加年度について質問があり、データの提出があればその年度の調査結果をもとに参加可能である旨が説明された。がんの年齢調整死亡率の減少の原因について質問があり、人口最小県のため死亡数の減少が影響しているが引き続き各対策を実行して死亡率の減少に努めていただくことが要請された。

8. その他

鳥取大学医学部附属病院大石氏から、「地域がん・生殖医療ネットワーク構築を考える会」での協議内容について報告があり、鳥取県はがん・生殖医療ネットワーク未整備地域となっており、妊孕性温存への公的助成も見据えてネットワークの母体となる組織形成について本協議会へ協力を要請された。鳥取県の実績としては1年に数件しか行われていないこと、患者のニーズにこたえるシステム構築が必要なこと、不妊専門相談センターやがん相談支援センターなどの従来からの組織を活用することなどが協議され、協議会以外の関係組織も含めたネットワークの構築を引き続き検討していくこととした。

○報告事項

1. 令和元年度都道府県がん診療連携拠点病院PDCAサイクルフォーラムの報告

大山副部長から、資料9に基づき、令和2年2月8日に開催されたフォーラムについて、緩和ケアの実施体制の指定要件確認のための実地調査が今後行われることが報告された。